

白石青年会議所
歴代理事長
(敬称略)

1972年	初代	齋藤 芳展
1973年	第2代	齋藤 芳展
1974年	第3代	柴谷 栄一
1975年	第4代	伊東 寛治
1976年	第5代	菊池 謙三
1977年	第6代	鈴木敬一郎
1978年	第7代	岩山 績
1979年	第8代	小池 宗次
1980年	第9代	堀米 誠一
1981年	第10代	高橋 基
1982年	第11代	菅野 充騎
1983年	第12代	上西 正典
1984年	第13代	鈴木 隆
1985年	第14代	風間 文静
1986年	第15代	保科惣一郎
1987年	第16代	一條 光夫
1988年	第17代	齋藤 卓郎
1989年	第18代	一條栄一郎
1990年	第19代	村上 睦夫
1991年	第20代	柴田 利雄
1992年	第21代	日下 清
1993年	第22代	吉見 光宣
1994年	第23代	上西 安武
1995年	第24代	山田 光彦
1996年	第25代	佐野 輝之
1997年	第26代	西谷 義弘
1998年	第27代	風間 康静
1999年	第28代	太田 富造
2000年	第29代	阿子島裕明
2001年	第30代	茂泉 健
2002年	第31代	佐藤 守彦
2003年	第32代	大沼 清信
2004年	第33代	齋藤 博俊
2005年	第34代	柴谷 亜美
2006年	第35代	森 建人
2007年	第36代	伊藤 太一
2008年	第37代	奥山 謙一
2009年	第38代	佐藤文比古
2010年	第39代	小林 聡一
2011年	第40代	前田 顕正
2012年	第41代	鈴木 智洋
2013年	第42代	大泉 拓也

—白石青年会議所—

・住所 白石市字本鍛冶小路13
・電話 0224-24-4555
(平日の12:30～15:30)
・ホームページURL
http://www.shiroishi-jc.com



1_40周年記念事業として開催した「渡部陽一氏講演会」。講演後、渡部陽一さんを囲んでの記念撮影
2_昨年で第16回を数えた「わんぱく相撲仙南場所」 3_平成22年に13年ぶりに復活させた「白石駅前盆踊り」 4_被災者への鎮魂を込めて開催した「東日本大震災チャリティーコンサート」



響け世界に わが白石の鐘



白石青年会議所40周年

1972(昭和47)年6月18日、「響け世界にわが白石の鐘 人類のしあわせのために」を創立の言葉として誕生した社団法人白石青年会議所。宮城県内で7番目の青年会議所として誕生した同会議所は、白石市・蔵王町・七ヶ宿町を中心に活動を続け、昨年で40周年を迎えた。OB・OGには、白石を担うリーダーたちが名を連ねている。メンバーを突き動かす原動力はどこにあるのか、その魅力に迫った。

時代が変わっても、社会貢献と自己修練を追求する姿勢は変わらない。これからも、より地域のために、より地域とともに

11月19日、社団法人白石青年会議所(以下、白石JC)が主催する「渡部陽一氏講演会」(戦場カメラマンが伝える命の大切さ)がホワイトキューブで開催された。この講演会は、白石JCの創立40周年の記念事業として開催されたもの。世界各地の戦争や紛争地域を撮り続けている渡部さんの講演を通して、「命の尊さや家族との絆の大切さなど、身近にありながら見落としがち大切なものを子どもたちに気付いてもらいたい」という白石JCの思いが、まっすぐに伝わってくる内容だった。

白石JCが誕生して40年。この間、「地域のために」と白石市民春まつり参画やわんぱく相撲仙南場所、各種講演会など地域活性化や青少年健全育成につながるような数多くの事業を展開してきた。その事業の一つに目的を持ち、どうすればその思いを伝えら

れるかを考え、行動に移してきた。青年会議所組織は、日本のみならず全世界に存在する。日本の青年会議所会員は全国に約4万人。20歳から40歳までの志ある若者たちが、さまざまな課題に積極的に取り組んでいる。白石JCの会員数は、平成24年12月現在31人。会員が多くが男性ではあるが、女性会員の存在も大きい。もちろん、会員の皆さんはJCとは別に仕事や家庭を持ちながら活動している。それでもJCの活動には、ほかでは得難いものがあるのだろう。限られた時間を有効に使う方法や、企画から運営までを経験すること身に付く決断力や行動力など、すべての活動が自己修練に結び付く。「何事に対しても自ら問題を模索する。妥協はせず、苦勞をしながらも紆余曲折を経ることの重要性を自ら

気概と行動力を持って次代を切り拓く！ 本年も地域のために頑張りたい



第42代理事長 大泉 拓也 Takuya Oizumi
第41代理事長 鈴木 智洋 Tomohiro Suzuki

私 たち白石JCは、次の世代への「責任世代」という気概を胸に、行動力を持って次代を切り拓いていきたいと考えています。ただ、「特別な何かをやってやろう」というよりは、「地域の皆さんと一緒に、生まれ育った地域を少しでも良くしたい」という発想が原点にあります。

一人の力はたかがしれているかもしれませんが、仲間と一緒に「地域のために」という思いを形にする、その力をJCは持っていると思いますし、その行動力を付けてくれるのがJCです。

時に厳しく、時に励まし合い、同じ世代だからこそ分り合える仲間とともに目標に向かって進む中、さまざまな学びや学びをJCは教えてくれます。自分だけが良ければいいという発想では地域は衰退します。みんなも良くなって、自分も良くなりた。地域に何か課題があれば、どんどんJCを使ってほしいです。この地域で活動する多くの団体とも、横の連携を強くして、一緒に盛り上げていきたいです。